


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる」







項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調となっており、家電大型専門店販売は持ち直しつつある。また、百貨店・スーパー販売は前年を大幅に下回ってきたが、足下では持ち直しの兆しがみられるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあり、化学は足下では拡大しているが、生産用機械、金属製品、繊維が弱まっていることなどから、全体では弱まっている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下していることなどから、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる	
生産活動	弱含んでいる	弱まっている	
雇用情勢	改善しているものの、一部に弱い動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	元年度は増加見込みとなっている	2年度は減少見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	
住宅建設	弱含んでいる	弱い動きとなっている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる」

百貨店・スーパー販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店では店舗の休業等により、前年を大幅に下回っているものの、スーパーでは飲食料品に動きがみられる。また、足下では、百貨店では高額品に動きがみられるほか、スーパーでは引き続き飲食料品に動きがみられることから、持ち直しの兆しがみられる。コンビニエンスストア販売は、米飯類等の動きが鈍いことなどから、低調となっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることから、好調となっている。ホームセンター販売は、園芸用品やDIY用品等に動きがみられることから、好調となっている。家電大型専門店販売は、テレビ等に動きがみられることから、持ち直しつつある。新車販売台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っているものの、足下では下げ止まりつつある。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は、前年を大幅に下回っている。旅行取扱実績は、国内旅行、海外旅行ともに厳しい状況が続いている。以上のことから、個人消費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 休業を行うなど、5月までは極めて厳しい状況が続いてきたが、6月は時計など高額品に動きがみられることから、売上は、ほぼ前年並みに戻っている。(百貨店)
- 買いだめなどにより、飲食料品は好調な状況が続いており、足下では、在庫処分のセールにより衣料品にも動きがみられる。(スーパー、大企業)
- 感染症の影響により来店客数が減少しており、米飯類の動きが鈍い。(コンビニエンスストア、大企業)
- 外出自粛により巣ごもり需要が増加し、飲食料品等に動きがみられる。(ドラッグストア、中堅企業)
- 感染症の影響により来店客数が減少していたが、足下では前年を上回っており、外出自粛に伴う巣ごもり需要としてテレビ等に動きがみられる。(家電大型専門店、中小企業)
- 感染症の影響により、来店客数が減少していたが、足下では戻りつつある。(自動車販売店、中小企業)

■ 生産活動 「弱まっている」

電子部品・デバイス、自動車向けが弱い動きとなっているものの、スマートフォン向け等に動きがみられることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。化学は、大宗を占める医薬品が、後発医薬品を中心に、足下では拡大している。生産用機械は、金属加工機械を中心に弱まっている。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用、ビル用ともに弱まっている。繊維は、衣料向け、非衣料向けともに、弱まっている。以上のことから、生産活動については、弱まっている。

- 外出自粛によって医療機関の受診を控える動きがあったが、足下では回復してきており、4-6月期の業況は前期比・前年比ともに上向いている。今後についても、新商品の販売開始も相まって、更に上向くと考えている。(化学工業、大企業)
- 取引先からの受注のキャンセルも一部で発生しており、受注残が一段と減少している。(生産用機械、大企業)
- 引き続き国内需要が冷え込んでおり、生産調整を行っている。(繊維、中小企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は求人が求職を上回って推移しているものの、低下している。また、新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年並みとなっている。以上のことから、雇用情勢は、弱い動きとなっている。

- 感染症の影響から、生産が落ちており人員に余剰感があるため、派遣やパートの更新を行わない対応をとっている。(繊維、大企業)
- パート・アルバイトの募集に対して、感染症の影響により解雇となった人等からの応募が増えており、人手不足は解消している。(小売業、大企業)
- 製造業、非製造業ともに新規求人数が前年を大幅に下回っているほか、外出自粛中に求職活動を控えていた人達が徐々に動き出していることなどから有効求人倍率が低下している。(労働局)

- **設備投資** 「2年度は減少見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 製造業では、情報通信機械器具などが減少となるものの、化学工業、その他製造などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、金融、保険などが増加となるものの、不動産、小売などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
- 増産対応による生産ラインの増設により増加見込み。(化学工業、大企業)
 - 昨年度に実施した管理物件改装の反動減などにより減少見込み。(不動産、中堅企業)
 - 昨年度に実施した食品加工・物流拠点整備の反動減などにより減少見込み。(小売、中堅企業)
- **企業収益** 「2年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 製造業では、化学工業などが増益となるものの、生産用機械器具、情報通信機械器具などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業では、学術研究、専門・技術サービスなどが増益となるものの、運輸、郵便、小売などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超となっている。先行きは、「下降」超となる見通しとなっている。
 - **住宅建設** 「弱い動きとなっている」
 - 新設住宅着工戸数でみると、弱い動きとなっている。
 - **公共事業** 「前年を上回っている」
 - 前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。
 - **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」
 - 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。
 - **企業倒産** 「前年を下回っている」
 - 件数、負債総額ともに前年を下回っている。
 - **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年並みとなっている」
 - 消費者物価指数でみると、前年並みとなっている。

3. 各県の総括判断

	前 回 (2年4月判断)	今 回 (2年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。生産活動は弱まっている。また、雇用情勢は弱い動きとなっている。
富山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。また、生産活動、雇用情勢ともに弱い動きとなっている。
福井県	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。また、生産活動、雇用情勢ともに弱い動きとなっている。